



食育の芽

すみだの食育の合言葉は、「手間かけて “食で育む” 人とまち」です。あなたも一緒に「食育の芽」を育ててみませんか？



新たな「墨田区食育推進計画」策定に向けた報告会



区民、地域団体、NPO、企業、大学、保育園、幼稚園、小中学校などの関係者200人以上が参加した

主催：墨田区 共催：墨田区教育委員会 協力：すみだ食育goodネット

12月20日(火)に実施された報告会の目的は、第1に来年度からスタートする新たな食育推進計画に関して、区の取組と地域から提案されたアイデアを共有すること。第2に報告会の参加者からも意見や新たなアイデアをいただき、計画に反映させることです。報告会の第1部は、食で「夢」を育む「すみだの食育」をテーマとした対談。第2部は区の取組として保育園・幼稚園・小中学校での実践と災害時食支援に関する発表があり、最後に地域での取組として、児童館を中心とする2つのモデル地域で実施されたワークショップで生まれた新たな食育のアイデアが報告されました。



コーディネーター：早稲田大学社会連携研究所 所長友成真一氏

第1部 対談 食で「夢」を育む「すみだの食育」

食で「夢」を実現するための原動力は何か？ すみだの食育との関わりが深い山崎氏と山本区長の対談が行われました。



山崎 亮氏
studio-L 代表取締役

平成23年度から墨田区食育推進計画策定のお手伝いをさせていただきましたが、まさに住民さんたちが作った計画だと感じました。それは対等な関係性の中で対話が生まれたからではないかと。対等な関係を作る上で、夢を語るのが近道だと思います。食育を切り口にして夢を語ることで、対等な関係が生まれる。それは、とても大きな価値をもつことのような気がします。



山本 亨氏
墨田区長

昨年の食育推進全国大会では、すみだの地域力のすごさを実感しました。これまでは「協働の食育」で成果を上げてきたと思いますが、今後はみんなで協力してつくる「協創の食育」を目指してほしいと思います。私が約50年取り組んできた剣道には、「われ以外みなわが師」という教えがあります。お互いに学び合い夢を育み合うことで、すみだの食育の新たな進化を期待します。

第2部 手間かけて みんなでつくる「すみだの食育」

地域が取り組む食育

地域に根ざした食育の推進を目指して、墨田児童会館と立川児童館を中心に、地域の関係者の方々が参画するワークショップを実施。今後の取組アイデアを検討し、その結果が発表されました。

発表は、寸劇の形式で行われました。ワークショップは各児童館とも4グループで行われましたが、各班で共有した想いと、それをカタチにするための夢(アイデア)を、1つの物語にまとめて発表しました。

「墨田児童会館 わっしょい」チーム



発表された参加者の想い

地域のみんなとつながりたい。地域つながり感謝の心を育みたい。若い親子が地域に参加できる場をつくりたい。おせっかいを大切にしたい。

想いを実現するための夢(アイデア)

まちなか農園(空き地を活用した栽培・収穫体験)。生き残り大作戦(災害時を想定した体験)。児童館で同窓会(学校給食をテーマにみんなで集まる)。輪食会(みんなで輪しよくいくかいになって食べる)。おたがいさま食19会(19日の「食育の日」に児童館に集まる)



「立川児童館 PPAP」チーム



発表された参加者の想い

いろいろな人をつなぐ、次世代につなぐ、食を通してつながりを大切にしたい。

想いを実現するための夢(アイデア)

サザエさん計画(三世代がつながる食イベント)。タテカワ春の鍋まつり(多世代が集まり大鍋で料理を作る)。おいしい児童館(街かど食堂などのイベントを実施)。タテカワの森(小さなコミュニティを木に見立て、それをたくさん集めて森にする)。



災害時食支援ネットワーク検討会

発表を行ったのは、大久保勝久委員(公益社団法人東京都向島歯科医師会)と木口圭子委員(すみだ地域栄養ネットワーク)です。区と地域の協働で進めてきた検討会の成果を「災害時に食への配慮が必要な方への理解と支援のポイント」としてまとめ、普及啓発してきた取組などの説明がありました。また、検討会の夢として「すみだ食支援ステーション」の提案がされました。



区が取り組む食育

保育園・幼稚園・小中学校で行われている食育に関する取組が報告されました。墨田区教育委員会教育長の加藤裕之氏から「今後とも食育の充実を図っていききたい」というお話がありました。



秋期講座&食育茶の間の会

11月11日(金)、八広地域プラザ吾婦の里の調理室で、「秋期講座&食育茶の間の会」を実施しました。テーマは、「身近な備蓄食品で防災に備えよう！みんなで楽しく作って食べよう！！」。災害用の特別な備蓄食品ではなく、普段の料理でも使う缶詰などの長期保存の可能な食品などを使って、ほうとう、サラダ、う巻き風卵焼き、オレンジパンケーキを作りました。ほうとうのうどんも手作り。参加された方から「おいしかった」「防災備蓄食って難しく考えていたけど、手軽にできると知ることができた」「今日は来てよかった。また家でも作りたい」などの感想がありました。



食育人に会いに行こう



11月5日(土)「食育人に会いに行こう！」を実施しました。会場は向島の住宅街にある「焼酎Bar 秘蔵(ひめくら)」。このお店は、「食育人」の1人、土山章裕さんが経営するお店です。もう1人の「食育人」は、「和のごはん みかづき」の板垣美加子さん。土山さんと板垣さんは事前に何度も打ち合わせを重ね、どのような焼酎を出すのか、どんな料理を作るのか準備をしてくれました。当日は、土山さんが選んだ焼酎と、板垣さんが心をこめて作ったお料理を楽しみつつ、お2人から、焼酎と「和のごはん」にこめた想いについてのお話を聞けるとい、とても幸せな時間でした。



中島前理事長感謝の会



12月16日(金)、すみだ食育goodネット初代理事長(現顧問)中島マサさん感謝の会が、押上にあるCafe Tokyoで行われました。

2009年にgoodネットの前身である「すみだ食育推進リーダー会」が発足して以来、長きにわたり「すみだの食育」にご尽力いただいた中島さんに、出席者全員から感謝の言葉とプレゼントを贈りました。



食品ロス削減セミナー

10月29日(土)、区環境保全課主催にて開催された食品ロス削減セミナーでは、展示と、環境保全課の職員の方と一緒に講演会の司会を担当しました。司会は「劇団ちゃんこ」という形で、寸劇仕立てで行いました。また講師には、東京ガス株式会社の担当者と有限会社三善豆腐工場の平田さんも登壇されました。



はばたき・みつばち・こうめまつり

11月19日(土)、すみだ福祉保健センターで実施された「はばたき・みつばち・こうめまつり」は、利用者の作品販売や模擬店の出店がありました。今回初参加となったgoodネットはとろみ調整食品の体験や試供品配布と、お口の体操「パタカラ」体操を行いました。またおおくぼ歯科医院の久保勝久歯科医師の協力で「口腔内の相談コーナー」を設け、歯でお困りの方の相談を受けました。



グリーンマーケット

2月4日(土)・5日(日)、3月4日(土)・5日(日)、墨田区役所前うるおい広場で開催された「THE GREENMARKET Sumida」(主催:墨田区/一般社団法人墨田区観光協会)に出展し、災害時の備蓄食の紹介や、とろみ調整食品の体験コーナーを行ないました。2月4日には東日本大震災復興支援として、石巻の魚の缶詰も販売しました。



エコライフ講座

2月7日(火)、八広地域プラザ吾嬬の里で、エコライフ講座「食育体験講座:残ったパンどうしよう? ~プロに学ぶ食育講座~」が開催されました。主催は区環境保全課で、講師は亀屋 かめばんの佐伯信郎さんです。バレンタイン直前ということもあり、残ったパンを使って「ハート形のブラウニー」を作りました。

